

有田町 社協だより

第60号

平成28年5月

発行/社会福祉法人
有田町社会福祉協議会

●本所
〒844-0027
有田町南原甲664番地4
TEL0955-41-1315

●西有田支所
〒849-4153
有田町立部乙2462番地2
TEL0955-46-4733

印刷/(有)大宅印刷

●ボランティアだより●



みんなでご当地体操を
さあ、はじめましょう!!

平成28年5月6日 有老連有田支部のみなさん



誰もが住みなれた有田で、
いつまでも健康で元気な
日常生活が送れるよう、
ご当地体操(ありた健康体操)
を広めましょう。



平成28年度有田町社協の事業計画の紹介	P2・3
ご芳志ありがとうございます	P4
有田町民災害ボランティアセンター実働訓練、認知症サポート講演会	P5
片付け支援事業を行います、ご当地体操普及養成講座	P6
佐賀県生活自立支援センターより、平成28年熊本地震災害義援金募集	P6
サマースクールきらきら臨時職員募集、日本赤十字社社費を募集	P7
今後の催しもの、どうしていますか?在宅介護	P8

もくじ

平成28年度有田町社協の事業計画の主なものを紹介します。
町民の方のご理解とご支援をお願いします。

■家族や地域社会の変化に伴い、支援ニーズは複雑多様化しています。社会福祉協議会は、誰もが支え合う地域の実現と地域の支援ニーズの発見及び支援のために、生活支援コーディネーターの役割を担い、地域住民やその他関係者と協働のもと「人と人の絆」の再構築に努めていくことを今年度の目標とします。

1、地域福祉活動の推進

- ①地域福祉活動事業への助成
- ②地区座談会の開催
- ③福祉のつどいの開催
- ④福祉ネットワーク会議の開催
- ⑤生活支援コーディネーターの設置【新規】
- ⑥有田の町から孤立をなくそう事業【新規】

2、ボランティア活動の推進

- ①ボランティアの登録
- ②ボランティア活動保険加入手続き及び助成
- ③ボランティア養成講座開催
- ④傾聴ボランティア育成講座開催
- ⑤高齢者サロンリーダー育成講座開催
- ⑥ボランティア連絡協議会運営支援
- ⑦学校ボランティア育成事業
- ⑧町民災害ボランティアセンター事業
(会員の募集・連絡会議の開催、会員研修)

3、相談援助活動の推進

- ①心配ごと相談 [偶数月第3 火曜日・10時～12時]
- ②介護相談 [奇数月第3 火曜日・10時～12時]
- ③法律相談 [毎月第3火曜日・13時～16時]
- ④よろず相談の受付 (本所・支所担当者の設置)
- ⑤福祉サービス利用援助事業
(あんしんサポート)の実施 [生活支援員2名]
- ⑥苦情解決システムの充実 (第三者委員制度)

4、調査・広報・啓発活動

- ①社協だよりの発行 年6回
- ②福祉情報『かわら版』発行 年3回
- ③社協出前講座の実施
- ④小中学校での福祉体験教室開催
- ⑤共同募金パートナーミーティングの開催
- ⑥ホームページの管理

5、高齢者福祉の推進

- ①一人暮らし高齢者のつどい 年1回
- ②赤い羽根スポーツ大会の開催
- ③米寿・金婚夫婦該当者への記念品贈呈
- ④老人クラブ連合会スポーツ大会支援
- ⑤高齢者サロン開催支援

6、児童・母子福祉の推進

- ①子育て支援「ちろりん村」開催
第2・4火曜日 老人福祉センターちとせ
- ②サマースクールきらきら開催
夏休み期間 (7月21日～8月31日)
月曜～金曜まで、小学1年生から4年生
までの預かり、定員40名
- ③チャイルドシート貸出事業
- ④親子で有田の町をもっと知ろう!事業
[年5回、小1～6年生と保護者]
- ⑤小学新一年生へ防犯ブザー贈呈
- ⑥遺児入学祝金支給事業

7、障害者福祉の推進

- ①ふれあい移送サービス
[特殊車輛を必要とする障害者移送]
- ②伊西地区なかよし運動会協力、助成

8、低所得者福祉事業

- ①有田町社協 福祉資金貸付・償還業務
- ②佐賀県社協 生活福祉資金貸付受付・償還業務
- ③生活相談員の設置・関係機関との連携

9、介護予防事業・生活支援事業

- ①高齢者ホームヘルプ事業
- ②配食サービス事業 (月～金 夕食弁当)
- ③介護予防教室事業 (フレッシュくらぶ)
(月～金 週9回開催 運動・栄養・口腔ケア)
- ④脳のいきいき教室 [週1回 7ヶ月間]
- ⑤ご当地体操普及事業 (普及人材育成)【新規】
- ⑥外出支援事業 (ふれあい移送サービス・
特殊車輛での医療機関等への送迎)
- ⑦在宅サポート事業 (介護保険外の訪問介護
サービス、通所介護サービス)
- ⑧家族介護教室 (年4回)
- ⑨認知症支援推進事業 (訪問活動等)【新規】
- ⑩認知症予防講座 (10地区で開催)

- ①認知症サポート事業（認知症を理解する講座）
- ②買い物支援事業（公共交通機関の不便な地区対象）
- ③片付け支援事業〔ごみ屋敷対策等〕
- ④ゴミ出し協力員事業
- ⑤福祉用具貸出事業〔電動ベッド、車いす他〕
- ⑥地域包括支援センターとの連携（職員の出向）

10、在宅介護支援センター事業

在宅高齢者の実態把握及び訪問、保険・福祉サービスの紹介、福祉に関する総合相談、福祉関係機関との連携、家族介護教室の企画・実施

11、介護保険事業

- (1)指定居宅介護支援事業（ケアマネジメント）
介護サービスを利用するにあたって、ケアプランの作成、実施状況の把握、給付管理など。
- (2)指定居宅サービス事業
 - ①指定訪問介護事業【ホームヘルプサービス】
利用者宅訪問による身体介護・生活支援
 - ②指定訪問入浴介護事業
利用者宅を入浴車で訪問し、浴槽を居室に持ち込み、入浴介助を行います。
 - ③指定通所介護事業【デイサービスセンター】
送迎、健康チェック、入浴、食事、機能訓練、レクリエーションなど。

12、障害者自立支援事業

- ①指定障害福祉サービス等事業
ホームヘルプサービスの実施

13、施設の管理運営

- ①福祉センターふれあいの受託運営
- ②老人福祉センターちとせ及びいこいの広場の指定管理運営

14、共同募金有田町支会事業

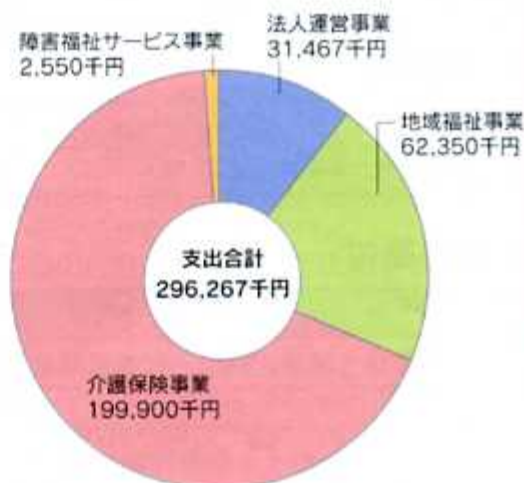
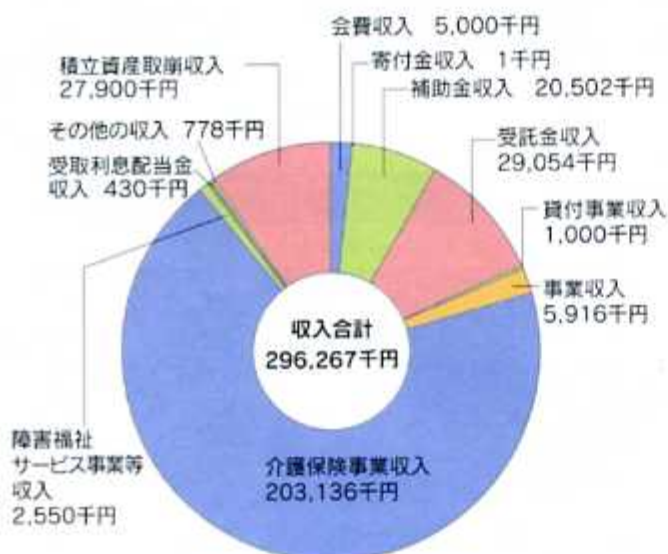
- ①運営委員会及び配分委員会の開催
- ②赤い羽根共同募金運動 10月1日から
〔戸別・法人・団体・街頭・資材・イベント・学校募金など〕
- ③災害義援金の募集
- ④災害見舞金の支給

15、日本赤十字社有田町分区事業

- ①日赤社費募集 5月1日から
〔戸別・法人等〕
- ②救急法講習会の実施協力
- ③災害食の備蓄
- ④災害義援金の募集
- ⑤罹災世帯への災害見舞金及び見舞品の支給

平成28年度 有田町社会福祉協議会収支予算

(単位：千円)



ご芳志ありがとうございます。

【寄付金の公表について】

有田町社会福祉協議会では、町民の皆様からいただいた寄付金(香典返し等)については、寄付をいただく際に、寄付申込書にて寄付申し出をなされる方の意思をお伺いしております。

有田町社協としては、寄付者の意向を尊重し、寄付申込書にしたがって、下記のような公表をさせていただきます。

- ① 寄付者名・地区名、物故者名、金額全て載せてもよい。
 - ② 寄付者名・地区名、物故者名までは載せて、金額は載せなくてよい。
 - ③ 全て載せなくてもよい。
- 町民の皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。



皆様からいただきました貴重な浄財は社会福祉事業に幅広く使わせていただいております。

(寄付者にその意向をお尋ねした結果、一部記載がないところがあります。)

● 香典返し

【自 H28. 3. 1 ~ 至 H28. 4. 30】

寄付者名	地区	物故者名	金額
馬場 勇 様	戸矢	ミツ子 様	30,000円
久保田義則 様	北ノ川内	フユノ 様	30,000円
島田 清則 様	南原	フク 様	70,000円
辻 ノブコ 様	南山	保 様	30,000円
田代 久代 様	大野	陽 一 様	50,000円
藤 和子 様	山本	満 徳 様	30,000円
矢取裕美子 様	本町	久 明 様	30,000円
権藤 昇 様	戸杓	トシエ 様	30,000円
馬場 幸江 様	大野	和 成 様	30,000円
古川 洋一 様	北ノ川内	アヤ子 様	50,000円
益田早百合 様	黒牟田	春 雄 様	30,000円
引田美千代 様	戸矢	勲 様	50,000円
前田 初美 様	戸矢	春 子 様	30,000円
秋月ちぐさ 様	黒川	邦 武 様	30,000円
深海 睦子 様	碑古場	良 治 様	50,000円

寄付者名	地区	物故者名	金額
藤 竜生 様	山本	丈 英 様	30,000円
石橋 和馬 様	下山谷	猛 様	30,000円
岩尾柚木枝 様	立部	賢 一 様	50,000円
齋藤 和子 様	丸尾	和 明 様	30,000円
瀬戸口春恵 様	赤坂	勉 様	30,000円
清水マサエ 様	蔵宿	勲 様	30,000円
福島 輝夫 様	赤絵町	吉 の 様	10,000円
藤 早苗 様	大木宿	辰 己 様	30,000円
金子 和枝 様	山谷切口	利 馬 様	寄付者の意向により 金額は載せておりません
金子 良文 様	山谷切口	一 江 様	
関 真治 様	原明	サヨ子 様	
松永サツ子 様	原明	常 春 様	
木下 光摩 様	中の原	ユキ子 様	
堀 クミヨ 様	二ノ瀬	義 晴 様	
木寺登美子 様	下内野	オトメ 様	

● 一般寄付

【自 H28. 3. 1 ~ 至 H28. 4. 30】

songのぞみ 様	2,000 円	社会福祉事業資金 (福祉のつどい(サー))
有田町消費者グループ協議会 様	5,000 円	社会福祉事業資金

● 物品寄付

【自 H28. 3. 1 ~ 至 H28. 4. 30】

吉水 信彦 様	山本	押し車
秀 千歳 様	幸平	紙オムツ

訂正とお詫び

前号【平成28年3月号】社協だより5ページの香典返し寄付欄 ㊸ 吉田妙子様 → ㊹ 吉田妙子様に上記のとおり、訂正しお詫び申し上げます。

有田町民災害ボランティアセンター 災害時訓練を実施

3月19日、有田町社協職員による災害発生時の職員連絡網を使つての初動体制訓練、災害ボランティアセンター立上げ訓練を行いました。



ハイゼックスを使った災害食作り

今回の訓練は、当日朝、有田町内において震度5強の地震で土砂災害が発生したとの想定で、災害対策本部からの要請を受け有田町民災害ボランティアセンターを立ち上げました。

緊急連絡網で召集された社協職員は、ボランティ

ア受付用のテントの設置、受付名簿や名札の準備をし、被災者のための炊き出し訓練を行いました。

また先月発生した熊本、大分での地震によって被害にあわれた方々へ心よりお見舞い申し上げます。有田町内においても強い連続した揺れを感じました。災害はいつやってくるかもしれない決して他人事ではないものだと痛感させられました。

有田町社会福祉協議会では、災害義援金の受付募金箱を設置しております。現地に行きたくてもいけない、何か支援したいなどのお気持ちをぜひ災害義援金としてご協力いただき、皆さまからいただいた思いとともに被災地へお届けいたします。

認知症サポート講座を開催しました

3月12日、介護福祉士、認知症ケア指導管理士で介護老人保健施設 白い石の介護副主任の馬渡隆博氏を講師に認知症サポート講座を有田町福祉保健センターで開催しました。

【馬渡先生の講演要旨】

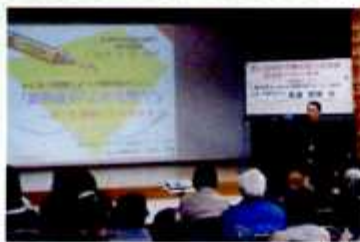
認知症は、特別な病気ではありません。超高齢社会となった今では、全国で462万人とも言われ、団塊の世代が75歳以上となる2025年には600万人にもなるといわれ、「年のせい」「自然な老化」ではなく「病気」です。認知症の種類としては、アルツハイマー型が全体の6～7割で最も多く、次が脳血管性とレビー小体型が1～2割、前頭側頭型が残り1割となっています。

認知症の初期症状として、午前中に話したことを午後には忘れていて、ゴミ出しの日を間違える。季節に合わない服を着る。買い物に行つて家にまだあるものを買ってしまう。好きなことに興味を示さなくなるなど。

特にアルツハイマー型認知症になると、ご飯を食べたのに食べていないと言ったり、同じことを何回も話したり、聞いたり、トイレ以外の場所でおしっこをしたり、近所で道に迷つて帰れなくなったり、食べられないものを食べたり、などの症状が出てきます。

でも、本人は決して「間違つたことをしよう」とか「誰かを困らせてやろう」なんて、思つてやっているのでないのです。

認知症になれば「分からなくなった」わけではなく「分かりにくくなった」だけで、その中で、目の前の環境に適応しようと一生懸命考え、自分なり



に正しいと思うことをしているのだそうです。

～認知症の人は、どういふ生活が望ましいか～

- 上げ膳据え膳ではなく、必ず役割を持ってもらう。(洗濯物たたみなど)
- ストレスを作らない。(出来ないことを無理にさせない。プライドを損なわせる。そつと援助)
- 自信を持ってもらうために、できることはどんどんやってもらう。



認知症になることが、不幸になるかどうかは、周りの人の関わり方が左右するといわれます。

～認知症の人を支える3つの馴染み～

- なじみの人間関係を作る。(昔から知っている人、知つた顔、知つた声は安心感を与える!)
- なじみの物(昔から使つていた道具や家具：使い方が分かるから安心!)
- なじみの行動(昔からしていた仕事や家事：身体が覚えているから安心!)

～最後に認知症の方への共通認識として～

「大丈夫、大丈夫、そのまま。みんながちゃんと分かっているからね。」

住みなれた地域で安心して暮らしていくために、みんなで支え合つていきましょう。と結ばれました。

今年度も片付け支援事業を行います

①片付け支援を利用できる方

一人暮らしや老夫婦世帯、老親と障がいの子の世帯等で経済的に困窮し、シルバー人材等の利用が困難である世帯。その他、有田町社協会長が必要と認めた世帯です。

②支援の内容

住宅内の粗大ゴミ、長期間ためこんだ燃えるゴミ、燃えないゴミ等を地域サポーターや社協職員が、片付け・ゴミ処分のお手伝いをします。

③費用負担

さが西部クリーンセンター（伊万里市松浦町）への持ち込み処分料は、利用者負担です。

片付けをする者の人件費、ゴミ搬送用のトラック代及び燃料費、片付け用具（マスク、軍手、箒、ちり取り等）は有田町社協が負担します。

住まいをきれいにし、健康的な生活を送りましょう。



ご当地体操普及リーダーさんを養成します

健康づくりの面と有田を元気にする目的で、有田町独自のご当地体操であるありた健康体操ができました。

この体操を広く町民に普及するため、町から委託を受けた有田町社会福祉協議会が、普及リーダーさんを養成します。

NPO九州トリム体操協会理事長の岩永愛子氏を講師に、社会福祉協議会職員や老人クラブの各支部役員さん、高齢者サロンのリーダーさん

等を対象にご当地体操普及養成を行います。

4月18日（月）には早速、町社協職員が岩永愛子様とトリム体操メンバーさんたちからご当地体操の指導をいただき、今後の普及に意気込みを見せていました。



生活に困っている方への支援制度をご存知ですか？

佐賀県生活自立支援センターからのお知らせ

生活困窮者とは経済的な面だけでなく日常生活や社会生活でも「生きづらさ」を感じている方のことです。支援員が仕事や生活などでお困りの方に寄り添いながら支援を行っています。例えば仕事が長続きしない、家計を考えずにお金を使ってしまう、家族がひきこもっているなど些細な事でもお気軽にご相談ください。

問い合わせ

佐賀県生活自立支援センター

佐賀市鍋島町大字八戸溝1449-2

営業：10:00～20:00

☎ 0952-20-0095

平成28年熊本地震災害義援金

～ご協力ありがとうございます～

4月14日に熊本県熊本地方で発生した地震により被災された方々への義援金を募集しております。

有田町内においても4月28日現在で合計810,206円の募金や義援金にご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。この義援金は日赤や共同募金会を通じ、被災地熊本へ送らせていただきました。

引続き募集しておりますので、ご協力をお願いいたします。

受付

有田町役場 他

有田町社会福祉協議会 本所・支所

サマースクール「きらきら」 臨時職員募集

有田町社会福祉協議会が行う「サマースクールきらきら」は、夏休み期間中、保護者が仕事等で子どもの世話や見守りができないという家庭のために、預かり・見守りを行う子育て支援事業です。

夏休みの間、子どもたちのお世話・指導をしていただける方を募集します。

勤務期間	7月21日(木)～8月31日(水)の 月曜日から金曜日まで	募集人員	臨時職員 3名
勤務時間	8時15分～ 17時15分	賃 金	日額6,200円
勤務場所	天神公民館(8区 南山)	選 考	募集締め切り後、採用面接を行います。
対 象	小学校1年生から4年生まで40名	募集締切	6月17日(金)17時までに履歴書を 有田町社会福祉協議会本所(南原)へ 提出ください。
内 容	子どもたちのお世話・見守り 〔夏休みの宿題・レクリエーション等〕		

問い合わせ ☎ 41-1315

日本赤十字社社費を募集します

毎年5月は赤十字運動月間です。

日本赤十字社は、「人の命と健康、尊厳」を守るという人道的使命に基づき、自然災害や武力紛争、病気や飢餓で苦しむ人を救うため、日々国内外で支援活動を行っています。

日本赤十字社佐賀県支部有田町分区では、平成28年度の社費を募集します。町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

- ▼ 一般社費(賛助会費)一世帯 400円以上 区長様を通じて募集いたします。
- ▼ 特別社員 1,000円以上
5月中旬頃、担当地区の民生委員さんが各事業所等を訪問し、社員加入のお願いに参ります。
- ▼ 日本赤十字社の事業
 - ♥ 災害・紛争・食糧不足などに苦しむ国への援助・物資の提供・支援要員の派遣
 - ♥ 災害救護活動 自然災害・火災などの発生時に救護班の派遣や救援物資(毛布・日用品等)の支給
 - ♥ 赤十字病院(地域医療、救急医療)・医療活動(災害時に医師や看護師の派遣)
 - ♥ 看護師養成 赤十字看護学校運営
 - ♥ 血液事業 血液センター運営(採血・検査・製剤・供給業務)
 - ♥ 救急法・健康生活支援・水上安全法等講習会開催
 - ♥ 赤十字ボランティア活動
 - ♥ 青少年赤十字活動

これらの事業を行うため、皆様の社員加入をお願い申し上げます。



社協から催しものをお知らせします



行事名	期日/場所	内容
脳のいきいき教室(第1回)	5月23日(月) 10:00~11:30 有田町社協会館会議室	毎週月曜日 11月末まで全25回 予定。認知症予防のための頭の体操
親子で有田の町をもっと知ろう! 有田の農特産物(玉ねぎ)の収穫体験	5月28日(土) 10:00~12:00	小学1年生~6年生とその保護者を 対象 町内回覧で募集中 親子20組
心配ごと相談	6月21日(火) 10:00~12:00 有田町社協会館相談室	民生委員児童委員が、日常生活上の あらゆる相談に応じます。
法律相談	6月21日(火) 13:00~16:00 有田町社協会館相談室	弁護士が、財産相続、金銭貸借、離婚 問題、多重債務など法律に関する相談 に応じます。(要予約)
ボランティア養成講座	6月2日(木) 10:00~12:00 6月16日(木) 10:00~12:00 有田町社協会館前広場	ガーデニングボランティア 講師: グリーンアドバイザー 内田圭志 氏 定員20名

どうしていますか?在宅介護 デイサービス「くつろぎ」の紹介



有田町社会福祉協議会では、デイサービス「やすらぎ」(南原)と
デイサービス「くつろぎ」(立部)の2事業所で通所介護を行っています。
今回は、**デイサービス「くつろぎ」**を紹介します。

1日のサービス内容

● 迎え

送迎車で自宅までお迎えに参ります。

● 健康チェック

「くつろぎ」に着いたら小休憩の後、血圧、
脈拍、体温等測らせていただきます。

● 入浴

介護スタッフの介助でお風呂に入っ
ていただきます。

(職員による一部
介助やリフト浴あり)



● 機能訓練、体操

訓練担当スタッフが助言しながら、歩行や
手足の運動訓練、軽運動などを行って
いただきます。

● 昼食・休憩

くつろぎの厨房で調理員が作ったおいしい
給食を召し上がってください。

● レクリエーション

ボール体操、
転倒予防体操など



● おやつ

手作りのおいしいおやつをお召し上がり
ください。

● 送り

送迎車で自宅玄関まで安全にお送りします。



◆ 体験利用もできますよ。

デイサービスセンター「くつろぎ」

電話41-2071 立部乙2462-4

身体が不自由になって、自宅のお風呂に入るのがこわい。足腰の筋力が落ちて近所を散歩するのが億劫にな
った。物忘れがひどくなり、昼間一人していると昼食を摂るのも忘れてしまう。誰かに声をかけてほしい。そのよ
うな状態が続き介護認定を受けたので、昼間、通いで生活介護のサービスを利用したい。

そんな方は、介護保険を使って1割(2割)の自己負担で、デイサービス(通所介護)を利用できます。有田町
社会福祉協議会のケアマネージャーにご相談ください。 **電話 41-1315**